

みなとの風

〒231-8682 横浜市中区新山下3-12-1 / TEL 045-628-6100(代)

<http://www.yokohama.jrc.or.jp/>

●発行: 2009年9月 地域医療連携室

Contents

- みなとトピックス 1
- 特集: がんに対する取り組み 2~3

- 新任医師のご紹介 3
- セミナー・講演会等のご案内 4

みなとトピックス

Topics 腎臓内科の再開

今年から腎臓内科に赴任させていただきました。ご挨拶が遅くなりまして申し訳ございません。まだまだ不慣れですのでご迷惑を多々おかけするとは存じますが何卒よろしくお願ひいたします。

赴任後はあらゆる方々からのご支援とご協力の下に血液浄化部門である透析室、ついで外来、病棟と順に再開いたしております。しかし、何分マンパワーが不足しているため手広くといった感じではなく細々と少しずつ開始しています。あまりに目立たぬために相変わらず腎臓内科が不在のように感じられてしまうかもしれません。

第二内科 副部長 中村太一

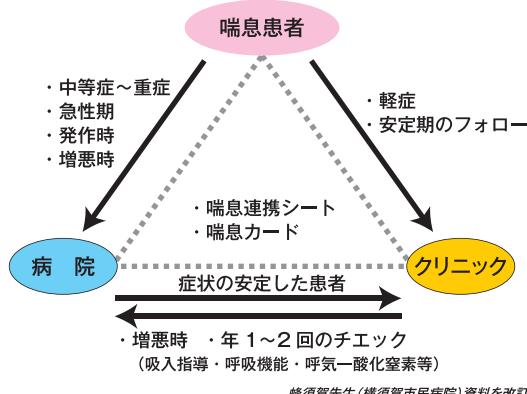
当科では腎生検を行い検尿異常やネフローゼ症候群の診断と治療、また保存期腎不全の管理、さらに透析導入を行っています。透析室も再開しましたので他科で入院される透析中の方にも対応しています。

始まったばかりの当科ですが慢性腎臓病(CKD)の方は予想外に多く、是非とも先生方のお力を借りて一緒に患者様を診ていければ大変幸いと考えています。精一杯頑張る所存です。何卒お力添えを賜りますよう心よりお願ひいたします。

Topics アレルギーセンターにおける気管支喘息の地域連携システム

アレルギーセンター センター長 中村陽一

気管支喘息は慢性の炎症性疾患であり、定期的な吸入指導・呼吸機能評価による「現状の管理」と気道炎症の測定(呼気一酸化窒素など)による「将来の悪化予防」が必要です。ところが、これらの診療行為は保険診療で十分にカバーされていないため、アレルギー専門施設においてのみ実施されている現状です。そこで、アレルギーセンターや小児科で先行している喘息地域連携システムを成人喘息にも採用しました。完全コントロールが達成された患者さんを連携先のクリニックで定期的に診ていただきます。約半年に1回アレルギーセンターを受診していただき、前述の検査による重症度の再評価を行うことによりコントロールを維持します。また、連携クリニック初診の重症喘息患者さんをアレルギーセンターへ紹介いただき、ガイドラインに沿った治療による安定の後に本システムに導入します。



蜂須賀先生(横須賀市民病院)資料を改訂

小児においては、当院での急性期対応、各種検査、指導等に加え、クリニックの先生方とJPACというコントロール質問紙を共有し地域連携パスに従い診療を行っています。一人でも多くの先生に地域連携パスにご協力いただきたく存じます。

この試みがより多くの喘息患者さんのQOL向上に結びつけば幸いです。

緩和ケアチームの活動報告

緩和ケア科 医師 藤井由貴

当院では、2005年5月にオープンした25床の緩和ケア病棟に加えて、2008年5月より緩和ケアチームの活動を開始しました。

緩和ケアチームでは、一般病棟において緩和ケアを必要とするがん患者さんとそのご家族を対象として、がんと診断された早期の段階から緩和ケアを提供することを目標としています。主治医や病棟看護師をサポートする立場で、身体症状（疼痛・嘔吐・呼吸困難など）や精神症状（不安・不眠・抑うつ・せん妄など）の緩和を行い、また、ご家族のサポート、今後の療養場所の選択の支援、なども行っています。

メンバーは、緩和ケア科医師、精神科医師、がん看護専門看護師、薬剤師で構成されています。主治医からの依頼を受けて患者さんのベッドサイドへうかがい、問診・診察を行い、症状に合わせた処方を行っています。緩和ケアチームの介入にあたっては、緩和ケア実施計画書を作成し、患者さんとご家族に緩和ケアチームの概要について説明し、同意の署名を得ています。当院の緩和ケアチームは厚生労働省の認可を受けており、緩和ケアチームの介入にあたっては1日あたり300点の「緩和ケア診療加算」を算定しております。

各主治医から依頼を受けた最初の時点で、患者さんのゴール（がんの治療のための定期的な入退院の繰り返し／緩和ケア病棟への入院／他施設への転院、など）につき確認し、それに応じて各主治医・病棟看護師と相談しながら適宜薬剤調整を行っています。毎週木曜日にはチームメンバーでカンファレンスを行い、各症例の治療方針につき検討しています。

がんの治療期の患者さんでは、疼痛などの症状に応じて、主診療科と合わせて緩和ケア外来にも通院していただく場合もあります。主科での化学療法と同時に症状緩和を並行させ、主科での治療が継続できるよう支援しております。また、当院は緩和ケア病棟を有するため、がんに対する積極的治療が困難になった際は、今後の療養場所として緩和ケア病棟を選択される方もいらっしゃいます。その際はできるだけスムーズに移行できるよう、お手伝いしております。緩和ケア病棟への入院後は、緩和ケア科医師が主治医になり、診療を継続しています。



カンファレンスの様子

まだまだ歩き始めたばかりの若い緩和ケアチームですが、今後も、地域医療機関の皆様との連携や院内の日常診療を通じて、早期からの緩和ケアの普及を目指して活動を続けたいと考えておりますので、これからもどうぞよろしくお願ひ致します。

対する取り組み～

がん医療に携わる専門看護師・認定看護師

看護部 小笠原 利枝

当院でがん医療に携わるスペシャリストは、がん看護専門看護師 1 名、リエゾンナース（精神看護専門看護師の候補生）1 名、がん化学療法看護認定看護師 1 名、緩和ケア認定看護師 1 名、皮膚排泄ケア認定看護師 2 名があり、それぞれの立場からがん看護の質の向上に貢献できるよう活躍しています。専門看護師は部署に属さずに各部署を横断的に活動し、一方、認定看護師は各専門領域の部署に所属をして活動を行っています。例えば、乳がんの患者さんがん性疼痛マネジメントについて緩和ケアチーム（がん看護専門看護師）へ相談依頼があつたけれども、疼痛の原因が胸部の自壊部であった場合には、自壊部のケアについては、その部署に所属をしている皮膚排泄ケア認定看護師と協働して、痛みがなく臭いの管理を含めたよりよい看護ケアの方法を一緒に考えていきます。また、終末期のがん患者さんの看護について病棟看護師がこれでよかったですのかという心残りを持つことがあります。そのような場合にはリエゾンナースと一緒に病棟でのデスカンファレンスに参加することもあります。がん患者さんの状態やニーズによって協働するスペシャリストは違いますが、常に患者さんと家族を中心に協働できるリソースが多く、チーム医療が推進できるというのは当院の強みだと思っています。さらに、がん看護に関する教育活動において研修の企画や運営をスペシャリスト同士で担当をしています。『がん患者支援コース』の研修は今年で 5 年目になりますが、対象者を院内の看護師だけでなく、訪問看護師やクリニックに勤務している看護師など地域でがん看護に携わっている看護師も広く募集をしています。がん患者とその家族を支えていくには、地域で携わる医師や看護師との連携や協働が大変重要となります。今後もがん看護に関する研修会を継続して開催していきたいと考えています。どうぞ楽しみにしてください。



スペシャリスト達

後列 リエゾンナース(赤沢)、がん看護専門看護師(小笠原)

前列 がん化学療法看護認定看護師(山口)、

皮膚排泄ケア認定看護師(高田・蓑島)、緩和ケア認定看護師(瀬戸)

新任医師のご紹介

新しく就任した医師をご紹介させていただきます。今後地域の先生方と地域医療の連携を推進していくかと思いますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

*** 質問項目 ***

- ①診療科(専門領域)
- ②取得認定医
- ③卒業大学
- ④卒業年度
- ⑤趣味
- ⑥地域の先生方へ一言!

ツチヤ フトシ
土屋ふとし



- ①泌尿器科(癌一般)
- ②日本泌尿器科学会専門医・認定医
- ③横浜市立大学
- ④平成2年
- ⑤ランニングと土いじり
- ⑥「良い御関係を築ける様に頑張ります。」

ヨシイケ タクヤ
吉池 卓也



- ①精神科
- ②鳥取大学
- ③平成14年
- ④音楽鑑賞
- ⑤「お役に立てるよう頑張ります。よろしくお願ひいたします。」

オオサカ トモカ
大迫 智佳



- ①精神科
- ②宮崎大学
- ③平成19年
- ④温泉
- ⑤「ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。」

カバサワミカコ
梶沢未佳子



- ①皮膚科
- ②東京女子医科大学
- ③平成14年
- ④ショッピング
- ⑤「よろしくお願ひいたします。」

第14回 4区(中区・磯子区・南区・西区)医師会・みなと赤十字病院合同研究会のご案内

本年から新たに西区医師会にご参加いただき、4区合同の研究会を開催いたします。

業務が多忙とは存じますが、是非ご参加くださいますようよろしくお願ひいたします。

日 時：11月18日(水) 19:00～20:30

会 場：みなと赤十字病院 3階大会議室

テー マ：「下肢閉塞性動脈硬化症について」

「慢性咳嗽の診断と治療」

「緩和ケア病棟の紹介」

※会終了後に懇親会を開催いたします。



みなとセミナー・講演会のご案内

第59回みなとセミナー 感染講演会

日 時：9月17日(木) 19:00～20:30

会 場：みなと赤十字病院 3階大会議室

テー マ：「新型インフルエンザの現状と今後の展開・対策」

講 師：東北大学大学院医学系研究科

内科病態学講座 感染制御・検査診断学 森兼啓太先生



第6回横浜みなと免疫・アレルギー講演会

日 時：10月8日(木) 19:00～20:30

会 場：横浜市開港記念会館 1号室

テー マ：「進化する喘息治療－咳喘息の診断・治療を含めて－」

講 師：東京アレルギー喘息研究所 所長 佐野靖之先生



第60回みなとセミナー

日 時：10月22日(木) 19:00～20:30

会 場：みなと赤十字病院 3階大会議室

テー マ：「脳卒中の再発予防」

第61回みなとセミナー 第17回横浜消化器疾患研究会

日 時：11月6日(金) 19:00～21:00

会 場：ブリーズベイホテル 4階

内 容：症例検討、情報交換会

第62回みなとセミナー 第2回緩和ケア講演会

日 時：11月11日(水) 18:30～20:00

会 場：みなと赤十字病院 3階大会議室

テー マ：「癌性疼痛管理の要点」（仮題）

第63回みなとセミナー 救命救急センターと集中治療部合同セミナー

日 時：11月25日(水) 18:30～20:30

会 場：みなと赤十字病院 3階大会議室

テー マ：「呼吸管理研修会」

※ご案内は後日別途ご送付します。

紹介患者さんのお問い合わせご予約は地域医療連携課

電話 045-628-6365（直通）／FAX 045-628-6367（直通FAX）
E-mail : minato-renkei@yokohama.jrc.or.jp